

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすくyell		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 14日		R7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R7年 2月 14日		R7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの特性に応じた関わりができています。日頃より保護者の方からの情報を聞き取り必要に応じて相談支援も行っている。	ご利用時には必ず体調確認を行っている。 保護者の方から相談がある場合は、聞き取り、適宜助言も行いながらより良いサービス提供を行っている。 長期に欠席された際や入院後は相談対応にて情報収集を行っている。	来所が難しい場合は今後も家庭訪問にて状態確認を行っていく。 ご利用者の状態を把握し必要な支援を継続する。
2	定期的な保護者交流会の開催で情報交換などが行われている。	必要な情報を保護者同士で共有・交換できるよう環境やテーマを設けるようにしている。	これまでの体験談について話をする機会や制度について専門家の意見を聞く機会をつくる。
3	法人内での様々なイベントを開催している。そのイベントに活動の一環としてご利用者も参加している。	活動を楽しんでもらえるよう、事前にスケジュール調整を行っている。	継続してイベントや外出など実施していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	重症心身障がい児と医療的ケアが必要な重症心身障がい児ではない児が同じ空間で過ごしている。動きがそれぞれ違うため互いにリスクがある。	空間を分けずに過ごしている。	環境調整。パーティションやサークルなどで危険が生じないようにする
2	作成しているマニュアルや研修、訓練の実施状況を保護者の方や外部にむけて発信することができていない。	ご家族や外部の方に向けての発信ができていない。	保護者交流会に実際の取り組みの報告も行っていく
3	職員間の情報共有が円滑に行えていないことがある	情報共有や伝達の手段があいまいになっている。 マニュアル整備	情報共有手段(社内SNS)を活用し円滑にする。 マニュアルの整備を行い、どのスタッフも同じように支援できる仕組みを作っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すくすくyell

公表日 年月日 2025年3月21日

利用児童数 年月日 2025年3月7日

回収数

15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	67%	33%	0%	0%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	64%	21%	14%	0%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93%	7%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	93%	7%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	67%	27%	7%	0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	60%	33%	0%	7%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	80%	20%	0%	0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	73%	20%	0%	7%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	64%	36%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27%	40%	7%	27%		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7%	20%	47%	27%			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	80%	13%	7%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	87%	7%	7%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80%	20%	0%	0%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	87%	13%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	53%	40%	7%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	73%	27%	0%	0%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	80%	20%	0%	0%		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	69%	15%	0%	15%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	77%	23%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	85%	8%	0%	8%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	79%	14%	0%	7%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	57%	0%	7%	36%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38%	0%	8%	54%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	67%	17%	0%	17%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	79%	0%	0%	21%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	92%	8%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	62%	38%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	62%	31%	8%	0%	入浴希望 学習的、専門的内容の支援希望	ご利用者の心身の状態に応じて対応を検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すくすくyell				公表日	2025年3月21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	一人ひとりのスペースをマット等で確保している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	受け入れメンバーの医療行為の度合により職員配置数に不安がある時があった時々少ないことがある	適正人員配置を守りながら、利用状況に応じて（呼吸器の児・者）が多い場合は看護師を多く配置するなどの対応を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別の部屋があるので、体調によってそこを使っている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	毎週KPTを行っている	情報共有が不十分なこともあるため、情報共有の手段の周知を行い、情報が浸透するようにしていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	災害時の対応など専門家の意見ももらっている	今後、災害の取り組みに対して外部の方にも入っていただき訓練等を実施していくことを検討している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%				
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	80%	20%		203年度まではHPに公表。2024年度は公表予定。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50%	50%		今後支援会議にて密な情報共有ができるようにしていく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%		医療機器を用いた身体評価で普段の様子の変化を注意深く見ている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	個人になっている	児童指導員が主となり活動を決め実施している。		

文 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	できることが限られてる中で工夫していると思う 季節に応じている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	67%	33%	集団未	集団を意識した活動展開を考えていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%		その日の受け入れ後に一時スタッフが集まり動きの確認を取る時間を検討する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	実績報告	社内SNSを使用しているが、情報共有が十分にできていない場合もある。共有方法の再検討を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	重心児が多くできることも限られるが できることを日々考えていると思う 自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%	継続利用の利用者が多く、機会があれば検討する	保育園を利用している児が少ないが必要に応じて実施していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%	継続利用の利用者が多く、機会があれば検討する	移行支援会議に参加し情報共有を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%		機会を設けて実施していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	中学生の職場体験の受け入れやクリスマス会の参加など 音楽会、等	こども同士の関わりの機会が少ない。今後検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	可能な範囲	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	保護者会など	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	家族支援記録に記載	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	利用者限定の公式LINEなどで情報発信を実施している Eメール通信の発行	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	83%	17%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	すべての訓練はできていないかも	計画の確認と研修訓練の実施。訓練実施については保護者交流会で実施のお知らせなどを行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	83%	17%		利用前に問診にて行っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%			